

大饗さんは2月から約7カ月間、英語を学ぶため留学。「CEC-Maita」という団体に加入し、同国最大の大学病院の小児科病棟で入院中の子どもたちと

マルタ共和国大統領に謁見



話し、折り紙を教えるなどのボランティア活動を行った。

首都バレッタの大統領府

でブレカ大統領に謁見。マルタでボランティア活動をした感想を聞かれ、大饗さんは「当初は病気でしんどいだろう病院の子どもたちとの交流に不安があったが、どの子ども笑顔あふれる強い子ばかりで、フレンドリーに接することができてうれしかった。マルタで生活でき、心の底から幸せです」と伝えた。

ブレカ大統領から「日本式がテレビで中継され、皆ともっと良好な関係を築きたい。そのためには、あなたい入るように見ていたのがたのやかな若い学生がボランティアに来てくれることはとても良いことだし、あんたがたいこと」と言われ、「感極まって泣きそうになりました」。

回国は国民の大半がキリスト教徒。「教会の中はとっても豪華。ホームステイ先の部屋にキリストの磔刑の絵が飾ってあり驚いた。イラスト休暇中は、キリストの復活を像で再現する儀式をしていきたい」と話した。